

2019年度「地域における男女共同参画推進リーダー研修
〈女性関連施設・地方自治体・団体〉」開催要項

1. 趣 旨

テーマ：男女共同参画推進に向けた取組とSDGs（目標5：ジェンダー平等）

男女共同参画社会の形成を推進するため、地域における男女共同参画の推進者を対象として、知識・企画力・実践力を養うための高度で専門的な研修を実施します。

参加者は、男女共同参画の基本理念について改めて学ぶとともに、喫緊のジェンダー課題に関する最新情報や取組事例、国の施策についての最新動向等を習得します。また、全国からの参加者との情報交換を通じ、現状把握と課題解決のヒントを得ます。

今回は、2015年に国連サミットで採択されたSDGs（持続可能な開発目標）が、その目標の5番目に「ジェンダー平等」を掲げていることを受け、近年目にする事の多くなったSDGsについての理解を深めつつ、これを用いた男女共同参画推進の取組の可能性についても探ります。

2. 主 催

独立行政法人国立女性教育会館

3. 共 催

特定非営利活動法人全国女性会館協議会（女性関連施設コースにおける共催）

4. 会 場

国立女性教育会館

〒355-0292 埼玉県比企郡嵐山町菅谷728

TEL 0493-62-6724

FAX 0493-62-6720

URL <https://www.nwec.jp> Eメール progdiv@nwec.jp

5. 期 日

2019年5月22日（水）～24日（金）〔2泊3日〕

6. 対象及び定員

地域の女性関連施設、地方自治体、団体等で男女共同参画推進リーダーとして実践的な取組を行っている方で、研修終了直後のアンケートと6か月後に実施するフォローアップ調査の両方を提出可能の方 130名

A：女性関連施設職員コース（50名）

公私立女性会館・女性センター、男女共同参画センター等、男女共同参画社会の形成に向けた拠点としての施設の管理職・リーダー等

B：地方自治体職員コース（50名）

都道府県・市区町村の男女共同参画推進責任者等

C：団体リーダーコース（30名）

地域で男女共同参画を推進する団体等のリーダー及び役員等

7. 日 程 (*印のプログラムは希望者のみ参加)

5/22 (水)	12:00		13:00	13:30	15:15	17:00	17:40	18:30	20:00
		受付	開会	基調講演	説明	*見学	移動 休憩	*情報 交換会	
5/23 (木)	9:00	10:15	12:00	13:00	15:00	17:30			
	情報 提供	パネル ディスカッション	昼食 休憩	講義 事例報告	テーマ別分科会	休憩 夕食			
5/24 (金)	9:00		11:15	12:05	12:15				
	コース別 分科会		全体会	閉会					

8. 内 容

第1日 5月22日(水)

(1) 開会 13:00~13:25

- ①主催者あいさつ 内海 房子 国立女性教育会館理事長
- ②共催者あいさつ 納米恵美子 特定非営利活動法人全国女性会館協議会代表理事
- ③趣旨説明 国立女性教育会館事業課専門職員

(2) 基調講演「男女共同参画の歩みとこれから」 13:30~15:00

今年、男女共同参画社会基本法の制定から20年。日本における男女共同参画推進の歴史的背景と基礎的知識を改めて学びます。また、「女性活躍推進法」や「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律」の制定により、女性が社会のしくみに参画する基盤ができつつある現状とこれからについて、国の動向を踏まえお話しいたします。

講師：名取はにわ 学校法人日本社会事業大学理事長、元内閣府男女共同参画局長

(3) 情報提供「男女共同参画社会に向けた今日の政策課題」 15:15~16:45

男女共同参画や女性活躍推進に向けた国の最新施策についての説明を受け、今後の方向性について理解を深めます。

- ①内閣府男女共同参画局
- ②厚生労働省
- ③文部科学省

(4) 見学「女性教育情報センター・女性アーカイブセンター展示室ツアー」(希望者)

17:00~17:40

女性教育情報センター・女性アーカイブセンター展示室を御案内しながら、NWE Cの情報事業などについて説明します。

説明者：国立女性教育会館情報課長

(5) 情報交換会(希望者) 18:30~20:00

立食形式で夕食をとりながら、全国からの参加者同士での情報交換とネットワークづくりを行います。

第2日 5月23日(木)

(6) 情報提供「NWE Cの事業展開について」

9:00~10:00

①研修事業について

2019年度の研修事業計画について説明します。

説明者：国立女性教育会館事業課長

②調査研究について

研究国際室が現在取り組んでいる事業について、「男女の初期キャリア形成と活躍推進に関する調査」及び「学校教員のキャリアと生活に関する調査」を中心に説明します。

説明者：国立女性教育会館研究国際室長

③国連女性の地位委員会（CSW63）報告

平成31年3月に国連本部で開催された、CSW63での議論や合意結論について報告します。

報告者：国立女性教育会館研究国際室専門職員

(7) パネルディスカッション「メディアとアンコンシャスバイアス」

10:15~12:00

メディアが人々の価値観に与える影響力はとて大きいものがあります。日本におけるメディアや広告PRはどう変化してきたのか。メディア制作・編集者の視点から、男女共同参画とメディアの関係や人々の意識の奥にある価値観について海外事例も交えつつお話しいただき、これからの情報発信のあり方について学びます。

スピーカー：竹下隆一郎 ザ・ハフントン・ポスト・ジャパン株式会社ハフポスト日本版編集長

スピーカー：山本 裕介 グーグル合同会社ブランドマーケティングマネージャー
Womenwill プロジェクトリード

コーディネーター：治部れんげ ジャーナリスト/東京大学大学院情報学環客員研究員

(8) 講義「SDGsにおけるジェンダー平等の意義と位置づけ」

13:00~14:15

SDGsとは何か。SDGsが国連で採択されるまでの流れや基本理念、及びSDGsにおけるジェンダー平等の位置づけについて学びます。

講師：田中由美子 国立女性教育会館研究国際室客員研究員/城西国際大学招聘教授
国連女性の地位委員会日本代表

(9) 事例報告「自治体における政策の推進とSDGsの活用」

14:15~14:45

静岡市は、日本政府からは「SDGs未来都市」に、国連からは「SDGsハブ都市」に選ばれており、「ジェンダー平等」を含め、SDGs推進に積極的に取り組んでいます。市の政策・施策とSDGsをどのように結び付け取り組んでいるかを報告いただき、今後私たちが取り組むべき課題とSDGsの関係性を考えるためのヒントを得ます。

報告者：稲葉 博隆 静岡市企画局企画課主幹兼地方創生推進係長

(10) テーマ別分科会 「5×X 男女共同参画課題をSDGsで考える」 15:00~17:30

各テーマについての報告を踏まえ、そのテーマについてSDGsを用いた分析・課題整理を行い、課題の解決に向けた方策を考えます。

A：政治分野における女性の参画

「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律」の制定から1年。女性の政治分野への参画は進んでいるのか。その障壁は何か。4月の統一地方選挙の結果及びパリテ・アカデミーの若手女性の政治リーダーシップ養成の取組を踏まえ、女性の政治分野への参画に向けた課題の共有と解決に向けた方策を探ります。

報告者：申 瑛榮 一般社団法人パリテ・アカデミー共同代表／お茶の水女子大学ジェンダー研究所准教授

B：学校における隠れたカリキュラム

男女平等と思われがちな学校教育に隠れたカリキュラムが潜み、固定的性別役割分業の払拭が難しいに状況にあります。学校における男女共同参画課題を共有し、学校と地域が協働・連携するためのアプローチについて考えます

報告者：村松 泰子 公益財団法人日本女性学習財団理事長／東京学芸大学前学長・名誉教授

C：経済分野の男女格差と性別役割分業

経済分野での女性の活躍が求められる一方で、処遇やキャリア形成の男女差は大きく残っています。この背景には、女性が、出産・育児・介護などを理由に離職しがちなことも関わっており、ケア役割の男女不平等も同時に問われています。最新の統計データに基づき、これからの働き方とケア役割のあり方について考えます。

報告者：高見 具広 独立行政法人労働政策研究・研修機構経済社会と労働部門研究員

D：男女共同参画の視点に立った防災

男女共同参画の視点に立った防災とは何か。これからの防災・減災・復興には多様な視点が必要です。男女共同参画の視点からの災害対応について、参画型・体験型の学習機会を提供している男女共同参画地域みらいねっとの事例報告をもとに、計画策定のあり方と地域人材を活用した継続的な取組について具体的に考えます。

報告者：小山内世喜子 一般社団法人男女共同参画地域みらいねっと代表理事

第3日 5月24日(金)

(11) コース別分科会「課題解決のヒントを探る」 9:00~11:00

A：女性関連施設職員コース「地域における男女共同参画データのまとめ方～ジェンダー統計について考える」

男女共同参画センターにおいて地域の実情に合った事業を企画していくためには、それぞれの地域の男女共同参画の実情を把握し、課題を明らかにすることが欠かせません。ジェンダー統計の基礎を知り、各センターでデータをまとめ、その成果を活用して事業を展開していくためのヒントを得ます。

報告者：牧野 圭子 公益財団法人富山県女性財団事業課長

解説・ファシリテーター：斎藤 悦子 お茶の水女子大学基幹研究院人間科学系准教授

B：地方自治体職員コース「男女共同参画センターと相談事業」

相談事業の意義と何か。個別の相談から見えてきたジェンダー課題をどのように把握・分析し、施策や事業に活かしていくことができるのか。その方策と実践例を紹介しながら、今後の方策と取組の可能性を探ります。

報告者：仁科あゆ美 一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団理事兼本部長

C：団体リーダーコース「持続可能な活動に向けたマネジメント」

各団体の継続的な活動実施に必要なマネジメントについて学ぶとともに、SDGsの視点から団体活動を捉え、関係機関と協働していくためのヒントを探ります。

報告者：新井 純子 合同会社のら代表社員

(12) 全体会

11：15～12：00

コース別分科会の講師より、各分科会の内容について報告いただき、話し合われた課題や解決の方策について、全体で共有します。

報告者：コース別分科会各コース登壇者

コーディネーター：西山恵美子 国立女性教育会館事業課客員研究員

(13) 閉会・アンケート記入

12：05～12：15

9. 申込方法等について

- (1) 申込方法 申込フォーム：2019年度「地域における男女共同参画推進リーダー研修」よりお申込みください。

申込フォームURL <https://goo.gl/forms/DxCJbjf3geFZxkmw2>

*申込フォームより送信ができない場合については、別紙参加申込書に必要事項を記入の上、事業課あてに郵送ください。

*送受信の行き違いや受信もれを防ぐため、FAXは不可とさせていただきます。



- (2) 申込期限 平成31年4月25日（木）17：00 必着とします。

*申込期間内でも、定員に達した場合は申込を締め切ります。

*5月7日（火）は、設備メンテナンスによる全館停電のため、すべての情報提供サービスを停止いたします。

- (3) 参加通知 別紙記載の連絡先に電子メール又は文書によりお知らせします。

*5月10日（金）までに連絡が来ない場合は、事業課までお問い合わせください。

（電話：0493-62-6724 月～金曜の9：00～17：00）

- (4) 無料託児 研修期間中、おおむね1歳以上～就学前のお子様を対象に実施します。

*事前申込制（先着順）、10名程度。

*5月7日（火）までに託児申込書をホームページよりダウンロードの上、事業課（progdiv@nwec.jp）に送付ください。

URL https://www.nwec.jp/event/training/g_leader2019.html



(5) その他

- *開催要項、別紙参加申込書等の電子データはホームページからダウンロードできます。
- *3日間通して参加できる方を優先します。

10. 所要経費（金額はすべて消費税込）

- (1) 参加費 無料
- (2) 宿泊費 研修期間中は1名1泊あたり1,200円
前泊（5/21）・後泊（5/24）も同じ料金で宿泊できます。
- (3) 情報交換会費 3,500円（希望者のみ） 5月22日（水）18:30～20:00
夕食を兼ねた立食形式・貸切（食堂の通常営業を行いません）
- (4) 食費 会館レストランを御利用ください。
朝食バイキング：870円、昼食カフェテリア形式：550円～、
夕食バイキング：1,080円

11. その他

(1) 事前学習（eラーニング講座の受講）

参加決定後、本研修の参加前までに、男女共同参画の基礎知識を学ぶためのeラーニング講座を受講していただきます（総学習時間1時間程度、受講料無料）。

(2) 情報コーナー（研修棟）

参加者の皆さまが、所属する団体の男女共同参画を推進に関わるパンフレットやチラシなどの資料や書籍など、自由に交換・販売するコーナーを設置します。資料の運搬、陳列、金銭の取扱いなどは、各自の責任でお願いします。

(3) 広報

研修期間中に職員が撮影した写真を、事業記録や広報（ホームページ、フェイスブック、チラシ等）のために使用することがあります。あらかじめ御了承ください。

(4) フォローアップ調査の実施

研修終了6か月後を目途にフォローアップ調査を実施いたします。実際の職務や活動に、研修成果がどのように役立てられているかについて伺うものです。御協力をお願いいたします。

※本研修は、第5回WAW!／W20 シャイン・ウィークスへのイベント登録をしています。